

氏名（本籍） 竹内 英美子（静岡県）
 学位の種類 博士（音楽）
 学位記番号 博音第36号
 学位授与年月日 平成11年3月25日
 学位論文等題目 <論文>フリッツ・クライスラー再考
 -その演奏と創作活動 総合評価の試み-
 <演奏曲目>フリッツ・クライスラーの作品
 -ウィーンに関連した作品を中心に-

論文等審査委員

総合主査	東京芸術大学	教授	(音楽学部)	山岡耕柝
論文審査(主査)	"	助教授	(")	土田英三郎
(副査)	"	教授	(")	山岡耕柝
(")	"	"	(")	南弘明
(")	"	"	(")	浦川宜也
演奏審査(主査)	東京芸術大学	教授	(音楽学部)	山岡耕柝
(副査)	"	"	(")	南弘明
(")	"	"	(")	浦川宜也
(")	"	助教授	(")	土田英三郎

(論文内容の要旨)

『フリッツ・クライスラー再考-その演奏と創作活動 総合評価の試み-』

本論文は、フリッツ・クライスラー Fritz Kreisler (1875~1962) の音楽活動を演奏および作曲の両面から検証して、彼の音楽の全貌を明らかにしようとしたものである。

ウィーンに生まれたクライスラーは、優れたヴァイオリニストとして今世紀の前半世界的に活躍した。彼は各地で精力的な演奏会活動を行った他、レコード産業の発展に伴って大変多くの録音を残した。それらは当時から非常によく売れたが、現在なおもLPやCD盤に復刻されて愛聴され続けている。彼はまた脈々と続いてきたヴァイオリニスト・コンポーザーの系譜の最後の世代に属し、主に自分で演奏するために多数の作品の作曲や編曲を行った。このうち《ウィーン奇想曲》《愛の喜び》などの多くが広く世に知られて、今もヴァイオリニスト達の貴重なレパートリーとなっている。

ところでクライスラーの作品は、大部分がヴァイオリンのためのごく短い小品であるうえ後世の音楽に大きな影響を与えたともみなされず、これまで音楽学の研究対象として総合的に評価されることは殆どなかった。近年初めて一つの作品目録が米国で発表されたが、楽曲分析は皆無に

等しい。録音についても情報は混乱していて、整理分析はされていない。従ってこれまでクライスラーに関して、一部の作品の知名度が非常に高い一方、その演奏および作品の全貌はあまり知られていない状況にあった。筆者はヴァイオリンを演奏する立場から、それらを明らかにする必要性を痛感していた。従来彼の作品数すら正確には把握されておらず、有名な作品の蔭に不当に埋もれている楽曲も多いことが予想されて、ヴァイオリン音楽のレパートリーを広げるためにそれらの再発掘が望まれた。また彼の作曲技法およびヴァイオリン技法の分析や彼自身の音楽観を知ることも、作品理解の一助となると見込まれた。こうした意図により、本論文は着手されている。

本本文は全体を3部構成とし、まず第一部ではクライスラー本人について述べる。その略歴を辿った後、彼が当時のウィーンの典型的な改宗ユダヤ人であったと推測されることに触れ、次に彼の演奏活動を概観する。続いてレコード録音を採り上げ、年代による収録曲目や共演者の変遷を整理した後、録音から聴き取れるクライスラーの演奏の特徴を考察する。第二部では、クライスラーの作品について述べる。初めに出版譜や自筆譜のほか録音のみで採り上げた作品についても検討し、全作品数等の基本的な情報を提示する。次に作曲技法に焦点を当て、形式やリズム、和声について観察した後、伴奏パートに関しても一項を設ける。続いてヴァイオリン技法について、その特徴を列挙していく。さらに特徴的な作品群として、発表当初から30年以上もの間自作であることを隠してた擬古典の作品、カデンツァ、編曲作品、2つのオペレッタについて述べる。第三部では、それまでの考察を踏まえてクライスラーの音楽観を明らかにし、結びとする。

今回クライスラーの音楽を総合的に採り上げたことにより、以下のことが明らかとなった。まず録音では自他の作品のべ380曲余りが採り上げられ、その中にはしばしば即興的なアレンジが加えられていたことなどが確認できた。次に作品については出版譜だけでも230曲余りのものが認められたが、この数は現在の一般の予想をはるかに上回っている。楽曲分析を通しては、彼の作曲方法が理論的というより感覚的であったことが確かめられ、さらにヴァイオリンの技巧が前面に押し出されることがないことも明らかになった。ただし彼自身ピアノを大変よく弾いたため、その作品の伴奏パートは他のヴァイオリニスト・コンポーザーのものとは一線を画して多彩である。一方彼が現代音楽について否定的であったことは、彼の残した言葉と作品の両方から検証できた。彼は音楽を美しく楽しいものと捉えており、その作品は自身の穏健で謙虚な人柄同様、今も多くの人に愛され続けているのである。

尚、本論文の別冊付録として、作品と録音の情報を総合して盛り込んだ「フリッツ・クライスラー作品目録兼ディスコグラフィ」を添付する。